

スマート水道メーターの実証実験を行います

1 概要

通信機能を備え遠隔での自動検針が可能なスマート水道メーターについて、実証実験を行います。

今回設置するシステムは、各戸のスマート水道メーターが携帯電話会社の通信網を使用して、基地局経由でデータセンターと通信を行い、現地に検針に行かずに、いつでも水道局で検針結果を確認することができるというものです。

2 目的

スマート水道メーターは、降雪量の多い地区やオートロックマンションなどの難検針を解消できることに加え、指針の見間違いや入力ミス等による誤検針を防止できるため、検針業務等の省力化や効率化が期待できます。今回の実証実験は、難検針地区での通信状態の確認やシステムから得られたデータと実際の検針結果の比較による正確性の確認、コストや市民サービス向上への有効性の検証等を目的として行います。

また、空き家などでの宅内漏水、寒波時や災害時の漏水の有無等を早期発見することが可能であるため、維持管理への活用も検討します。

3 場所

富士見町赤城山（大洞地区）で前橋市の上水道を使用されている59件が対象となります。この地区は、冬季の降雪量が多く検針が難しいことに加え、通常、地下に設置している水道メーターが、降雪時にも対応できるように、計量した水道使用量を地上で確認できる電子隔測メーターが設置されており、通信機器を接続するだけでスマート水道メーター化が可能なため、コストも抑えられることから、実証実験場所に選定したものです。

4 期間

積雪量が増える11月末までに通信機器の設置を完了し、季節ごとの通信状況の確認等を考慮し、実証実験は令和5年12月から令和7年3月末までを予定しています。

5 今後の予定等

降雪による難検針地区のほか、今後は、オートロックの集合住宅や工場等の大口需要者など異なった条件でのスマート水道メーター設置について検討するとともに、将来的には、水道使用量の見える化や見守りサービス等、市民サービス向上への活用についても検討します。

担 当 水道整備課 給水装置係
電 話 027-898-3037